

～12月議会定例会冒頭挨拶～（令和2年12月7日）

令和2年第9回定例会を開催するに当たり、一言御挨拶申し上げます。

寒さ厳しき折、議員の皆様には、師走のお忙しい中にも拘らず、御参集いただき、御審議賜りますことに厚くお礼申し上げます。

早いもので、令和2年も、後わずかになりました。

今年は明けて早々から新型コロナウイルス感染症が流行し始め、国や県の懸命な感染拡大防止対策に、我々市町村も追随しながら、感染抑制、経済支援に努めて参りましたが、中々、収まる気配はなく、東京都や、大阪府などの大都市では、GOTOキャンペーンの見直しと共に、飲食店の時短要請や外出自粛要請も発出されております。

先日の臨時議会でも申し上げましたが、佐賀県は現在のところ重傷者はなく、比較的、県の管理のもと封じ込めはうまくいっていると思いますが、それでも、感染者は増え続けているのが現実であり、予断を許さない状況に変わりはありません。

大町町としましても、第3波を迎えたコロナ過の中、冬場の季節性インフルエンザの同時流行を抑えるため、全町民を対象に、インフルエンザワクチンの接種をされた方に対し、助成をすることによって、健康保持と、医療機関の負

担軽減や混乱防止を図っていくこととしております。

繰り返し、繰り返し申し上げますが、ウィズコロナ下では、私たち一人一人
が自覚をすることが重要で、密集、密接、密閉の 3 密を避け、マスクの着用、
手洗い、換気を徹底し、うつらない、うつさないを心がけ、「できる事」をやっ
ていくことこそが、自らを守り、家族を守ることだと思いますので、その辺も
含めてしっかりと周知していきたいと思っております。